

地域女性活躍推進交付金事業実施計画書

1. 事業名	しもつけ☆女性活躍応援プロジェクト			
2. 実施期間	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日			
4. 地域の実情と課題	平成26年度に市で実施した市民意識調査結果によると、職場における男女平等意識について、有給休暇の取得では70.8%、福利厚生においては69.6%の方が、男女平等になっていると感じていると答えているが、幹部職員への採用については、男性が優遇されていると感じている方の割合が41.6%と高くなり、平等になっていると感じている方の割合30.7%を大きく上回っている。同じく昇進・昇格においても、男性が優遇されていると感じている方の割合が33.2%と高い結果となった。性別を理由とした役割の固定化意識により、女性の活躍の場が限られてしまっていると考えられるため、性別にかかわらず公平な評価や登用が図られるよう企業経営者等の意識改革を図り、働きやすい職場環境の整備やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組により女性の活躍を推進していくことが必要である。			
5. 事業の趣旨・目的	企業経営者等に対し、性別にかかわらず、様々な職域に女性の配置を意識するとともに、ライフスタイルに合わせ継続して就業できるような職場環境の整備、また長時間労働の削減等、「働き方改革」について周知啓発し、女性の活躍推進に欠かせないワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識改革を行う。また、官民一体となって女性の活躍推進に向けたイクボスの普及促進を行うことにより、市内企業等において、男女が共に働き続けられる職場づくりへの機運の醸成を図り、働き方の改革に繋げることを目的とする。合わせて、平成28年12月に「男女共同参画宣言都市」となったことを受け、男女共同参画社会の実現に向けて取り組む市の姿勢を示すとともに、女性の活躍に向け、市が率先して推進し企業等へモデルを示すことにより企業や団体への波及効果をねらう。			
6. 事業目標・重要業績評価指標 (KPI) (全体)	①平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の中長期目標 ※市男女共同参画計画、市推進計画で設定	目標・KPI 職場での募集や採用において男女が平等となっていると思う市民の割合 (アウトカム)	目標値(時点) 57% (H31年度)	現状値(時点) 51.9% (H26年度)
		イクボス宣言事業所数 (アウトプット)	8社 (H31年度)	0 (H28年度)
		女性の活躍に取り組む企業数の増(栃木県「仕事と家庭の両立応援宣言」企業数) (アウトカム) ※市による独自設定値	20社 (H31年度)	12社 (H29.1末)
	②平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の重要業績評価指標 (KPI) (※KPIは目標達成への事業進捗の測定指標)			
	③事業目標 (全体) ※市男女共同参画計画、市推進計画で設定	職場での募集や採用において男女が平等となっていると思う市民の割合 (アウトカム)	57% (H31年度)	51.9% (H26年度)
		イクボス宣言事業所数 (アウトプット)	4社 (H29年度)	0 (H28年度)
		女性の活躍に取り組む企業数の増(栃木県「仕事と家庭の両立応援宣言」企業数) (アウトカム) ※市による独自設定値	15社 (H29年度)	12社 (H29.1末)
	栃木県が運営する「とちぎ女性活躍応援団」の市内登録企業数(アウトカム)	12社 (H29年度)	2社 (H29.1末)	
④事業KPI (全体)				
7. 事業内容	<p>幹部職員への採用や、昇進・昇格における男女平等意識を高め、男女が共に個性と能力を発揮し、共に働き続けられる職場環境の整備に向け、企業経営者や人事労務担当者等の意識改革を行う。また、市が率先して官民一体となった「イクボス合同宣言」をすることにより、女性活躍推進への機運の醸成を図り、企業における働き方の変革に繋げていく。</p> <p>①女性活躍推進ガイドブック作成: 女性活躍推進に関するガイドブックを作成し、企業等への配布により、周知啓発を行う。 ②ジョカツのつどいinしもつけ: 女性活躍推進法や女性活躍に関する取組について、スライドショーによる説明を行い、「女性の活躍」をテーマとした映画鑑賞会を開催する。それらを通し、女性活躍の重要性について意識改革を図るとともに、啓発グッズ等の配布により女性の活躍推進に対する認知度向上をめざす。また、小山市・野木町・茨城県結城市による「小山地区定住自立圏形成協定」をもとに策定した「小山地区定住自立圏共生ビジョン」にワーク・ライフ・バランスの推進を掲げていることから、事業の周知にあたっては、3市1町の連携により広範囲にわたり行うものとする。 ③女性の活躍推進セミナー: 女性の活躍を推進するうえで重要となる、ワーク・ライフ・バランスやイクボス養成をテーマとし、企業経営者や人事労務担当者等及び市や消防組合の管理職を対象にセミナーを開催する。 ④しもつけイクボス合同宣言: 市、消防組合、商工会等、官民一体となりイクボス合同宣言を行う。イクボス宣言については、人事部局との連携により推進するものとし、多くの企業が参集する「下野市産業祭」のステージイベントで「合同宣言式」を行い、企業等に対してイクボス養成のPRを図る。</p> <p>10月後半の「イクボス宣言」をめざして、ガイドブックの配布やセミナーへの参加により、女性の活躍推進に向け企業経営者等の意識改革を促し、機運の醸成を図るなど事業を早期執行することにより、宣言後には、各企業に対し「とちぎ女性活躍応援団」への登録や「仕事と家庭の両立応援宣言」に向けた働きかけなどPRを積極的に行い、ワーク・ライフ・バランスを実現するための各企業における働き方改革に向けた取組が推進されることを期待する。</p>			

8. 事業の実施により期待される効果	女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスの周知・啓発及び官民一体となった地域ぐるみでのイクボス合同宣言により、企業経営者等の意識改革を行い、女性の活躍推進に向けた機運の醸成を図るとともに、企業に対しての働き方の改革に繋げる。								
9. 事業効果の検証及び今後の課題の整理方法	平成31年度実施の市民意識調査により、職場における男女平等感等について検証を行い、市男女共同参画プラン及び市女性活躍推進計画の施策内容に反映させることとする。								
10. 事業の実施体制	連携体制の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)下野市女性活躍推進協議会 ・(仮称)しもつけイクボス応援団 ・小山地区定住自立圏形成協定自治体 	設置の有無	無	設置(公表)時期	H29年度	※連携体制が、法に基づく協議会の場合「○」を選択		
	構成団体	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)下野市女性活躍推進協議会(H29.10設置予定) ・(仮称)しもつけイクボス応援団:下野市・石橋地区消防組合・商工会 ・小山地区定住自立圏形成協定自治体:下野市・小山市・野木町・茨城県結城市 							
	各構成団体の主な連携内容	<p>○商工会:商工会主催の事業者向け研修会等を活用し、女性活躍推進ガイドブックを参加事業者に配布するとともに、「女性活躍推進セミナー」について企業等へ周知、参加促進を図り、行政と官民一体となった「イクボス合同宣言」を行う。</p> <p>○石橋地区消防組合:女性の活躍推進セミナーへの参加及び市と合同での「イクボス合同宣言」を行う。</p> <p>・イクボス宣言団体において、県が運営する「とちぎ女性活躍応援団」に登録し、女性活躍の取組に対する意識を高めるとともに、各企業・団体に「とちぎ女性活躍応援団」への登録の呼びかけや「仕事と家庭の両立応援宣言」の周知を行う。</p> <p>・イクボス宣言による機運の醸成が他企業・団体に波及するよう、各団体ホームページや広報紙にイクボス宣言の様子や、下野市の女性活躍への取組状況を掲載する。</p> <p>・イクボス宣言の予定と結果それぞれを栃木県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」に掲載し、宣言の実施効果をより広範囲に波及させる。</p> <p>・各事業実施にあたり、実施前には事業内容・数値目標について協議等を行い共通認識を図り、それぞれの立場における取組を明確にし、実施後には、事業結果について、意見交換等をもとに評価を行うこととする。</p>							
	他の地方公共団体との連携	<p>○石橋地区消防組合:女性の活躍推進セミナーへの参加及び市と合同での「イクボス合同宣言」を行う。イクボス宣言による機運の醸成が波及するよう、石橋地区消防組合のホームページや広報誌にイクボス宣言の様子や、下野市の女性活躍への取組状況を掲載する。</p> <p>○小山地区定住自立圏形成協定自治体(小山市・野木町・茨城県結城市):ジョカツのつどいinしもつけ開催にあたり、チラシ・ポスターを活用した周知において連携を図る。</p> <p>○栃木県:イクボス宣言の予定と結果それぞれを栃木県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」に掲載し、宣言の実施効果をより広範囲に波及させる。</p>							

1. 事業実施工程表

事業番号	個別事業名	実施内容	事業目標(アウトプット・アウトカム)	実施時期												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	女性活躍推進ガイドブック作成	・女性活躍推進に関する企業向けガイドブックの作成及び配布による啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・配布企業数 500社(アウトプット) ・女性の活躍に取り組む企業数の増15社(アウトカム) ・職場での募集や採用において男女平等となっていると思う市民の割合57%(アウトカム) ・栃木県が運営する「とちぎ女性活躍応援団」の市内登録企業数12社(アウトカム) 			●委託契約締結		●校正 ●印刷		●配布						
②	ジョカツのつどいinしもつけ	・スライドショーによる女性活躍推進に関する説明、映画上映、啓発グッズの配布	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層(40代までの参加割合)の増加30%(アウトプット) ・つどい参加者数180名(アウトプット) ・つどい参加者満足度数88%(アウトプット) ・職場での募集や採用において男女平等となっていると思う市民の割合57%(アウトカム) ・参加者アンケートで女性活躍に取り組むと回答した割合80%(アウトカム) 	●委託契約締結	●開催告知	●つどい開催	●報告書作成									
③	女性の活躍推進セミナー	・企業経営者や人事労務担当者等を対象としたセミナーの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー参加者数 100名(アウトプット) ・セミナー参加者満足度数85%(アウトプット) ・女性の活躍に取り組む企業数の増15社(アウトカム) ・職場での募集や採用において男女平等となっていると思う市民の割合57%(アウトカム) ・参加者アンケートで女性活躍に取り組むと回答した割合80%(アウトカム) 			●委託契約締結		●開催告知		●セミナー開催						
④	しもつけイクボス合同宣言	・官民一体となったイクボス合同宣言及びワーク・ライフ・バランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・イクボス宣言事業所数 4社(アウトプット) ・職場での募集や採用において男女平等となっていると思う市民の割合57%(アウトカム) ・女性の活躍に取り組む企業数の増15社(アウトカム) ・栃木県が運営する「とちぎ女性活躍応援団」の市内登録企業数12社(アウトカム) 			●宣言者の選定		●イクボス宣言文の策定		●イクボス合同宣言	●WLB推進					

事業番号	①					
1. 個別事業名	女性活躍推進ガイドブック作成					
2. 実施期間	平成29年度第2回下野市議会(6月)予算可決日～平成30年3月31日					
4. 個別事業の事業目標		目標・KPI	目標値(時点)		現状値(時点)	
	(1) 事業目標	職場での募集や採用において男女平等となっていると思う市民の割合(アウトカム)	57%	(H31年度)	51.9%	(H26年度)
		女性の活躍に取り組む企業数の増(栃木県「仕事と家庭の両立応援宣言」企業数)(アウトカム) ※市による独自設定値	15社	(H29年度)	12社	(H29.1末)
		栃木県が運営する「とちぎ女性活躍応援団」の市内登録企業数(アウトカム)	12社	(H29年度)	2社	(H29.1末)
		ガイドブック配布企業数(アウトプット)	500社	(H29年度)	0社	(H28年度)
(2) 事業KPI						
5. 個別事業の事業内容	<p>女性活躍推進法が企業にもたらす効果等を掲載した女性活躍推進ガイドブック(1,000部)を作成し、市内企業等への配布による啓発を行う。 ガイドブックは、セミナー等開催時や、商工会主催の研修会等において啓発資料として配布するとともに、公共施設等の窓口への配置を行う。 また、既存事業で毎年度開催している「下野市立地企業交流会」等、多くの企業経営者が集う機会を活用し、女性活躍推進に向けた周知啓発を継続することにより、市内の事業主等の意識改革を図る。 事業を早期執行することにより、各企業における女性の活躍に対する意識改革から取組までの検討を早めることができるため、年度後半においては、女性活躍の推進に向けた意識の高揚に伴う各企業での働き方改革に向けた取組への波及効果を期待するものである。</p>					
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	<p>市内商工会と連携し、商工会主催の研修会等において、女性活躍推進ガイドブックの配布を行い、女性活躍推進法の周知啓発及び意識改革を図る。 ガイドブック配布時に、栃木県が中心となって運営する「とちぎ女性活躍応援団」への登録の呼びかけや「仕事と家庭の両立応援宣言」の案内を併せて行うことで、啓発の効果を高める。</p>				
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	<p>石橋地区消防組合との連携により、窓口への女性活躍推進ガイドブックの配置を行い、来庁者に向け広く女性の活躍推進の啓発を行う。 ガイドブック配布時に、栃木県が中心となって運営する「とちぎ女性活躍応援団」への登録の呼びかけや「仕事と家庭の両立応援宣言」の募集案内を併せて行うことで、啓発の効果を高める。 栃木県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」にガイドブックを作成したことを掲載し、より広く周知する。</p>				
・交付金事業間連携、他施策との連携	<p>商工会主催の事業者向け研修会を活用し、参加者に女性活躍推進ガイドブックの配布を行い、女性の活躍推進に向けた啓発を促進し、意識改革を図る。 ガイドブック配布時に、栃木県が中心となって運営する「とちぎ女性活躍応援団」への登録の呼びかけや「仕事と家庭の両立応援宣言」の募集案内を併せて行うことで、啓発の効果を高める。 栃木県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」にガイドブックを作成したことを掲載し、より広く周知する。</p>					

事業番号	②				
1. 個別事業名	ジョカツのつどいinしもつけ				
2. 実施期間	平成29年4月1日～平成29年7月				
4. 個別事業の事業目標		目標・KPI	目標値(時点)		現状値(時点)
	(1) 事業目標	職場での募集や採用において男女平等となっていると思う市民の割合(アウトカム)	57%	(H31年度)	51.9% (H26年度)
		若年層(40代まで)の参加割合の増加(アウトプット)	30%	(H31年度)	20.6% (H26年度)
		参加者数(アウトプット)	180名	(H29年度)	170名 (H26年度)
		参加者満足度(アウトプット)	88%	(H29年度)	85.0% (H26年度)
		参加者アンケートで、女性活躍に取り組むと回答した割合(アウトプット)	80%	(H29年度)	- 女性活躍の事業効果を検証するために新たに設定
(2) 事業KPI					
5. 個別事業の事業内容	<p>男女共同参画週間を活用した啓発事業として、女性活躍推進のための「ジョカツのつどいinしもつけ」を開催する。</p> <p>自分らしいライフスタイルを見つけ、それぞれが仕事や地域社会において活躍するために、だれもが活躍できる地域環境・職場環境・家庭環境づくりへ向けた意識改革を図ることを目的とする。つどいの内容は、女性活躍推進に向けたスライドショーによる説明及び映画鑑賞会とする。スライドショーでは、女性活躍推進法や女性の活躍に向けた取組について説明を行い、認知度向上を図る。映画上映では、来場者の意識改革に向けて、女性の起業に関するものや家族で働く女性を応援する内容等の映画を選定する。</p> <p>会場では、女性活躍推進に向けた広告カードを利用したポケットティッシュ等、手に取りやすい啓発グッズの配布により女性の活躍に対する意識の高揚を図る。</p> <p>また、市民で構成された下野市男女共同参画推進委員会委員との協働により、市民目線での事業運営に努め、委員が一市民として来場者に親近感を与えながら女性活躍推進法の啓発物配布をすることにより、女性の活躍が身近な課題として伝わるよう推進する。</p> <p>つどい終了後には、アンケートにより、満足度、女性活躍を進めるにあたっての課題、やるべき施策を把握し、次年度以降の事業内容に反映させていく。</p>				
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	<p>市民で構成された下野市男女共同参画推進委員会委員と連携し、協働で事業を進めることにより、委員が一市民として来場者に親近感を与え、女性の活躍に対する取組が身近な存在であることを伝えていく。</p> <p>男女共同参画推進委員会委員は、開催チラシの配布や周知を行い、また、当日の受付や啓発品の配布及び来場者との意見交換等により、女性活躍推進法の認知度向上に向けた啓発活動を行うものとする。</p> <p>また、自治医科大学附属病院及び自治医大駅の協力により、各施設に設置してある掲示板を活用し、市内外へ向け広範囲にわたる事業の周知を行う。</p>			
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	<p>県内自治体あてに開催チラシを送付し、市外における事業の周知及び参加促進を図る。</p> <p>小山地区定住自立圏形成協定自治体である小山市・野木町・茨城県結城市においては「小山地区定住自立圏共生ビジョン」におけるワーク・ライフ・バランス推進への取組のひとつとして位置づけ、開催チラシの配布・事業の周知にあたり、連携して行うものとする。</p> <p>栃木県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」につどいの開催案内を掲載し、より広く周知する。</p> <p>とちぎ女性活躍応援団の周知・登録呼びかけも併せて実施し、参加者の意識を高める。</p>			
・交付金事業間連携、他施策との連携	<p>下野市・小山市・野木町・茨城県結城市における「小山地区定住自立圏形成協定」をもとに策定した「小山地区定住自立圏共生ビジョン」にワーク・ライフ・バランスの推進を掲げていることから、つどいを共生ビジョンの取組のひとつとして位置付け、開催チラシ等の配布・事業の周知において、3市1町の連携により幅広く推進していく。</p> <p>栃木県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」にセミナー開催案内を掲載し、より広く周知する。</p> <p>とちぎ女性活躍応援団の周知・登録呼びかけも併せて実施し、参加者の意識を高める。</p>				

事業番号	③				
1. 個別事業名	女性の活躍推進セミナー				
2. 実施期間	平成29年度第2回下野市議会(6月)予算可決日～平成29年10月				
4. 個別事業の事業目標		目標・KPI	目標値(時点)		現状値(時点)
	(1) 事業目標	職場での募集や採用において男女平等となっていると思う市民の割合(アウトカム)	57%	(H31年度)	51.9% (H26年度)
		女性の活躍に取り組む企業数の増(栃木県「仕事と家庭の両立応援宣言」企業数)(アウトカム) ※市による独自設定値	15社	(H29年度)	12社 (H29.1末)
		セミナー参加者数(アウトプット)	100名	(H29年度)	0 (H28年度)
		セミナー参加者満足度数(アウトプット)	85%	(H29年度)	0 (H28年度)
		参加者アンケートで、女性活躍に取り組むと回答した割合(アウトプット)	80%	(H29年度)	- 女性活躍の事業効果を検証するために新たに設定
(2) 事業KPI					
5. 個別事業の事業内容	女性の活躍を推進するために不可欠な「ワーク・ライフ・バランス」や「イクボス」の存在に焦点をあて、働き方改革に向けた意識の高揚をめざす。 セミナー開催にあたり、企業経営者や人事労務担当者等及び市・消防組合の管理職員等を対象に参加を促し、女性の活躍推進に向けた意識改革を行い、女性活躍の重要性を認識し、部下の働き方を応援する「イクボス」の養成へと繋がられるよう推進する。意識改革により、それぞれの職場において環境の整備やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組へと繋げる。 セミナーでは、市作成の女性活躍推進ガイドブックを配布し、併せて栃木県が中心となって運営する「とちぎ女性活躍応援団」の登録や「仕事と家庭の両立応援宣言」の呼びかけを行うことで、啓発の効果を高める。 会場では、女性活躍推進に向けた広告カードを利用したポケットティッシュ等、手に取りやすい啓発グッズの配布により女性の活躍に対する意識の高揚を図る。 終了後には、アンケートにより、満足度、企業が女性活躍を進めるにあたって抱えている課題、やるべき施策等を把握し、次年度以降の事業内容に反映させていく。				
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	セミナー開催にあたり、商工会や工業団地協議会等への周知、参加促進を図る。 また、多くの企業経営者や人事労務担当者等に参加していただけるよう、企業に向けた参加促進においても商工会等と連携をとりながら推進していく。			
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	下野市の管轄である石橋地区消防組合に対し、管理職等のセミナー参加を促進し、職員のワーク・ライフバランスの実現や女性の活躍に向けた意識改革を行い、イクボス養成の必要性について共通認識を図り、「イクボス合同宣言」に向けた意識の高揚をめざす。 栃木県が中心となって運営する「とちぎ女性活躍応援団」の登録案内や、県担当者による「仕事と家庭の両立応援宣言」についての募集説明を行い、参加企業や参加者の意識啓発の効果を高める。 栃木県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」にセミナー開催案内を掲載し、より広く周知する。			
・交付金事業間連携、他施策との連携	人事担当課において、管理職向け研修会を先行開催し、チームマネジメントやワーク・ライフ・バランスを含んだ内容により意識改革を行ったうえで、さらにセミナーに参加することにより、女性の活躍やイクボス養成の必要性など、より多くの知識を習得し、イクボス宣言に対する理解を深める。 栃木県が中心となって運営する「とちぎ女性活躍応援団」の登録の呼びかけするとともに、「仕事と家庭の両立応援宣言」について県担当者より募集案内を行い、参加企業や参加者の意識啓発の効果を高める。 栃木県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」にセミナー開催案内を掲載し、より広く周知する。				

事業番号	④					
1. 個別事業名	しもつけイクボス合同宣言					
2. 実施期間	平成29年度第2回下野市議会(6月)予算可決日～平成30年3月31日					
4. 個別事業の事業目標		目標・KPI	目標値(時点)		現状値(時点)	
	(1) 事業目標	職場での募集や採用において男女平等となっていると思う市民の割合(アウトカム)	57%	(H31年度)	51.9%	(H26年度)
		女性の活躍に取り組む企業数の増(栃木県「仕事と家庭の両立応援宣言」企業数)(アウトカム) ※市による独自設定値	15社	(H29年度)	12社	(H29.1末)
		栃木県が運営する「とちぎ女性活躍応援団」の市内登録企業数(アウトカム)	12社	(H29年度)	2社	(H29.1末)
		イクボス宣言事業所数(アウトプット)	4社	(H29年度)	0	(H28年度)
(2) 事業KPI						
5. 個別事業の事業内容	<p>市及び下野市管轄の石橋地区消防組合、商工会が官民一体となり、イクボス合同宣言を行う。平成28年12月に「男女共同参画宣言都市」となったことを受け、行政(市・消防組合)と民間(商工会)の合同での宣言をすることにより、率先して女性の活躍に向けた取組を実施していく姿勢を示し、市内企業の働き方の変革へと繋げていくものとする。宣言に向けて、市が中心となりイクボス宣言書の策定を進め、下野市産業祭のイベントステージで合同宣言式を行うものとする。</p> <p>会場では、女性活躍推進に向けた広告カードを利用したポケットティッシュ等、手に取りやすい啓発グッズの配布により女性の活躍に対する意識の高揚を図る。宣言後は、それぞれの事業所において、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組を行い、市内各企業等へのモデルを示すことにより、女性の活躍及び男女共同参画社会の実現に向けた機運の醸成を図る。</p>					
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	<p>下野市の管轄である石橋地区消防組合及び市内商工会との協働による「イクボス合同宣言」に向けて、女性の活躍推進のために必要とされる各事業所の課題等について意見交換等を行うとともに、イクボス合同宣言の宣言文策定に向けた取り組みを行う。</p> <p>毎年度多数の企業参加により実施している「下野市産業祭」におけるステージイベントとして、市・消防組合・商工会各事業所のトップが「イクボス合同宣言」を行うことにより、市内企業等に対しイクボスとしての取組のPRにつながり、女性活躍の重要性とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識改革を図る。</p>				
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	<p>石橋地区消防組合とイクボス合同宣言に向けて、それぞれの職場での女性の活躍推進における課題等を共有し、宣言文の策定から今後の取組までを含め、協議検討を進める。地方公共団体である市と消防組合とが一体となって取り組むことで、企業等へのイクボスの重要性に対する波及効果の高まりをねらう。</p> <p>イクボス宣言式会場では、栃木県が中心となって運営する「とちぎ女性活躍応援団」の登録や「仕事と家庭の両立応援宣言」の呼びかけを行うとともに、栃木県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」にイクボス宣言について掲載し、より広く周知する。</p>				
	・交付金事業間連携、他施策との連携	<p>毎年度開催している、多数の市内企業・団体等が参集する「下野市産業祭」の場を活用し、ステージイベントのひとつとして「イクボス合同宣言式」を開催する。企業参集の場で宣言することにより、多くの企業経営者等のイクボスに対する意識を高め、イクボスの普及促進から女性の活躍につながるようイベントを活用したPRを行う。</p> <p>会場では、市作成の女性活躍推進ガイドブックの配布と併せて、栃木県が中心となって運営する「とちぎ女性活躍応援団」の登録や「仕事と家庭の両立応援宣言」の呼びかけを行うことで、啓発の効果を高める。</p> <p>栃木県の女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」にイクボス宣言について掲載し、より広く周知する。</p>				